

公益社団法人全国重度障害者雇用事業所協会  
「障害者雇用セミナー」

# 発達障害者の 特性を活かした就労支援

---

2018年2月20日（火）

目白大学 人間学部 人間福祉学科  
滝島 真優

## ～流れ～

1. 発達障害とは
2. 発達障害者の職業準備性
3. ジョブマッチング・就労定着に向けた  
“アセスメント”の重要性
4. 職場定着のために
5. 支援事例
6. まとめ

# 1. 発達障害とは

---

3つの特性から

# 1. 発達障害とは

【発達障害者支援法・第二条】

自閉症、  
アスペルガー症候群、  
その他の広汎性発達障害、  
学習障害、  
注意欠陥多動性障害、  
その他これに類する  
**脳機能障害**であって  
その症状が通常低年齢に  
おいて発現するもの

脳  
機  
能  
障  
害

脳機能のかたより

行動や考え方に独特のくせが出る  
認知のずれなど

成長は問題ない

成長が遅れているわけではない

心の問題ではない

考え方のかたより  
感情表現の困難さ

感覚にかたより

身体の知覚・感覚に影響  
接触・大きな音・温度など

## それぞれの障害の特性

# 個別性がある

- 言葉の発達の遅れ
- コミュニケーションの障害
- 対人関係・社会性の障害
- パターン化した行動、こだわり

知的な遅れを伴うこともあります

### 自閉症

### 広汎性発達障害

### アスペルガー症候群

- 基本的に、言葉の発達の遅れはない
- コミュニケーションの障害
- 対人関係・社会性の障害
- パターン化した行動、興味・関心のかたより
- 不器用（言語発達に比べて）

### 注意欠陥多動性障害 ADHD

- 不注意（集中できない）
- 多動・多弁（じっとしてられない）
- 衝動的に行動する（考えるよりも先に動く）

### 学習障害 LD

- 「読む」、「書く」、「計算する」等の能力が、全体的な知的発達に比べて極端に苦手

## 2. 3つの特性

- (1) 社会性（人とのかかわり方）の特性
- (2) コミュニケーションの特性
- (3) 想像力（切り替え・応用力）の特性

特性＝誰にでもある得意・不得意と同じこと

自閉症“スペクトラム（＝連続体）”の考え方



# (1) 社会性の特性 (人とのかかわり方)

## 長所

- みんなが無視してしまうようなルールでもきちんと守りたいと思うきまじめさがある
- マイペースに自分の思いをつらぬける強さがある
- ひとりで過ごす技術がある



## 苦手さ

- 常識が足りないと言われてしまうことがある
- 相手の考えや気持ちがわからず苦労することがある
- 気を遣うが、浮いてしまうことがある



## (2) コミュニケーションの特性

### 長所

- 素直で正直。思った通りのことを口にする。
- 興味のあることについてどんどん発言する
- 話し方がユニーク。おもしろい



### 苦手さ

- 自分の思いを言葉で表現するのが苦手、誤解されやすい
- 表情や身振りに鈍感。他人の意図を読み取りにくい
- 話がくどい、わかりにくい、一方的と言われてしまうことがある





### (3) 想像力の特徴 (切り替え・応用力)

#### 長所

- 自分の関心のあるものへの熱心さや几帳面さは人一倍
- 好きなことや納得したことをやり遂げる力が高い
- 見通しが立っていると安心して実力を出しやすい



#### 苦手さ

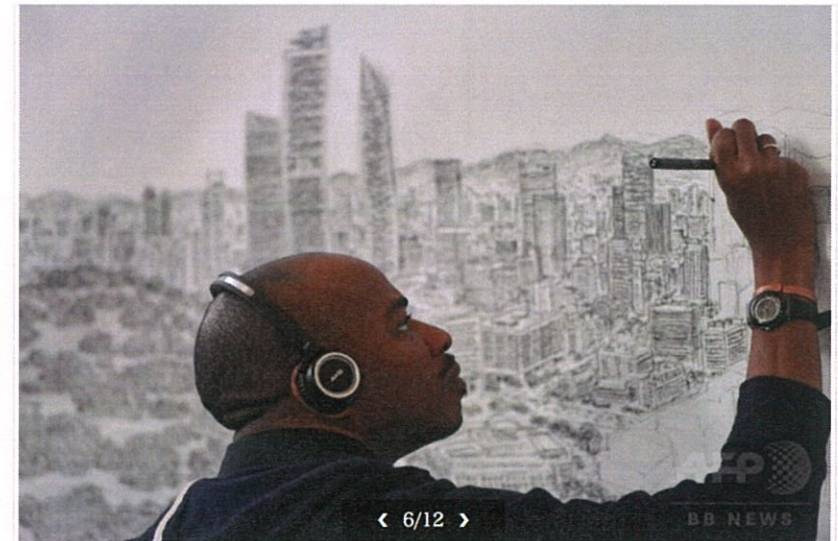
- 考えや行動をリセットするのが苦手
- 臨機応変な対応をするのが難しい
- 行動する前に結果を予測するのが苦手 (特に初めてのことや相手の考えの予測)



## 3. 行動の特徴

### (1) 視覚優位の状況把握

- ・優れた記憶力
- ・視野の広さ
- ・目からの情報を正確に再生できる力
- ・生きていくための大事な手続き
- ・目からの情報に頼って生きている



メキシコのメキシコ市で、市内の風景を記憶だけで描く英国人アーティストのステイブン・ウィルトシャー氏 (2016年10月26日撮影)。 (c)AFP/Yuri CORTEZ

# 3. 行動の特徴

## (2) 感覚過敏

### ●聴覚

- ・音や刺激に対する敏感な感受性を持つ
- ・敏感であり鈍感である
- ・言葉を機能的に使うことが難しいが、内言語（概念・イメージ等）が育っている

### ●味覚

- ・味、温度、硬さ、舌触りに過敏または鈍感

### ●触覚

- ・同じ素材でも感触が変わると受け入れることが難しい
- ・ものを触覚で確かめる

### ●嗅覚

- ・匂いを嗅いで確かめる

## 3. 行動の特徴

### (3) いくつかの生理的特徴を持っている

- ・ 季節の変わり目の不安定さ
- ・ 汗をかきづらい
- ・ 気圧が下がると睡眠が不安定になりやすい
- ・ 体温が1日の中で変化する
- ・ 睡眠→体温、室温の変化に影響を受けやすい

# 3. 行動の特徴

## (4) 不安への反応

- ・ 淡々とした同じ表情…
- ・ 不安を感じたとき、それを“不安”として表現することが非常に少ない
- ・ 自分の経験に頼る  
→不安を処理する際の課題に

## 2. 発達障害者の職業準備性

---

ハードスキルとソフトスキル

# 発達障害者の離職理由



- 人と関わるのが好きで接客をしていたが、同時に複数のことを言われると混乱し仕事が続かなかった
- 仕事をするのが遅く、上司に叱られ続け、自信を失った
- 仕事が続かず、何の仕事が自分に合っているかわからなかった
- 同僚から距離感が近すぎると言われ、無視された
- 職場での人間関係がよくわからず、いじめにあった
- 職場でいじめにあい、人が信用できず、うつ病になった
- いじめられた上司に似た同僚を見るとフラッシュバックした

# ハードスキルとソフトスキル

## ハードスキル

【仕事に必要なスキル】

- 仕事そのものの能力

特性、職場環境に応じた支援によって、職業能力を発揮することが出来る



## ソフトスキル

【仕事を続けるために必要なスキル】

- 対人関係や日常生活能力など仕事と直接関係はないものの、それらの能力が確立されていないと仕事そのものに影響を与える能力

- 発達障害のある人は、ソフトスキルに課題を抱えていることが多く、就労上のトラブルの原因となりやすい
- パターン化したマナーやルールとしてスキルを学び、援助を受ける環境が必要





# 個別性に応じて職業準備性の高め方を検討する



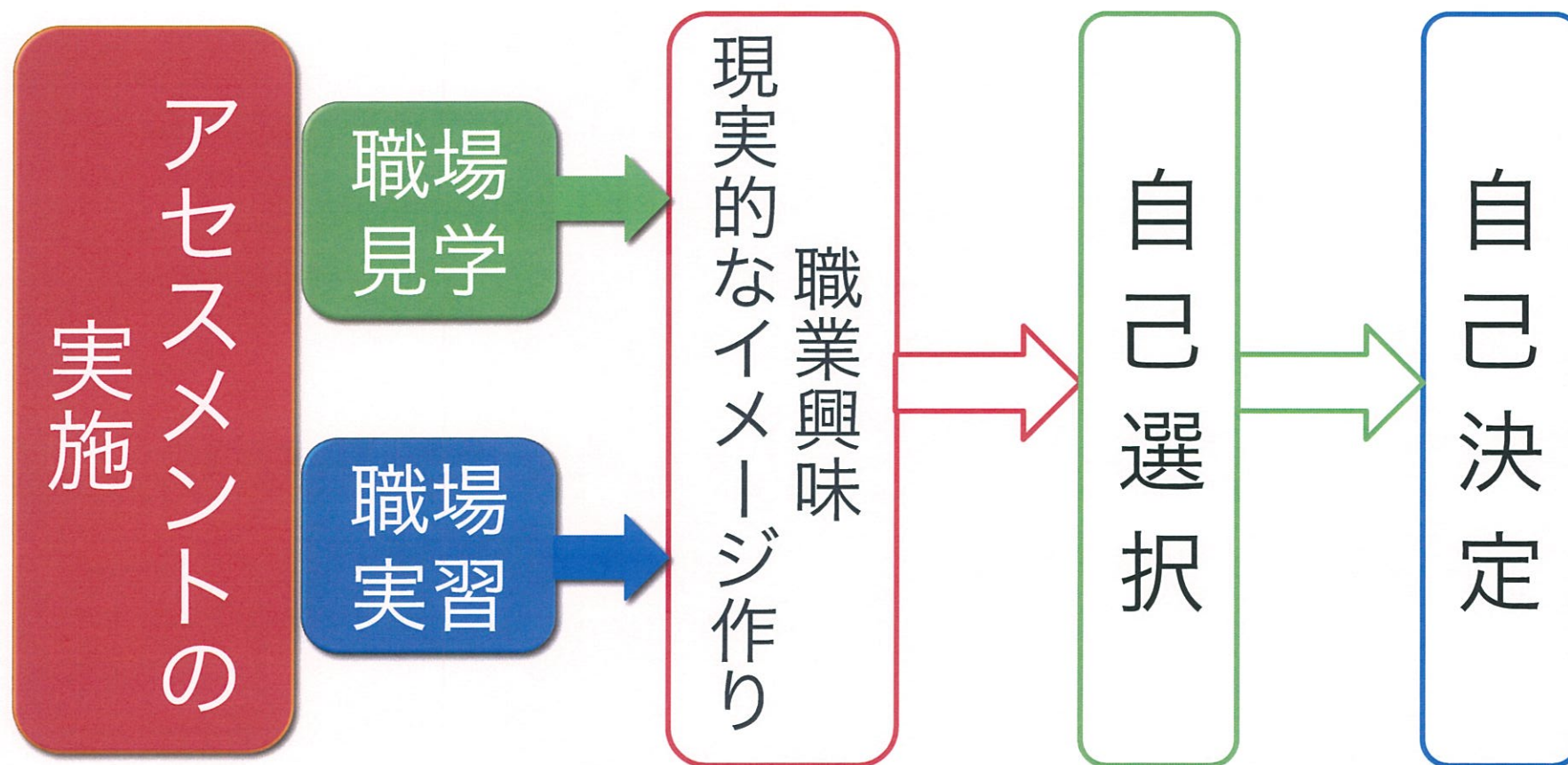
【参考】相澤欽一(2007)「現場で使える精神障害者雇用支援ハンドブック」金剛出版

“ボトムアップ型（積み重ね）の進め方の限界”  
個別性に応じて、ボトムアップ・トップダウン、双方の考え方を取り入れる必要性

### 3. ジョブマッチング・職場定着に向けた“アセスメント”の重要性

---

# ジョブマッチングに向けて



自分のことを自分で決めた経験が乏しい  
自己選択・自己決定に伴い、責任が生まれ、動機付けにつながることも

# アセスメント

## 職業興味

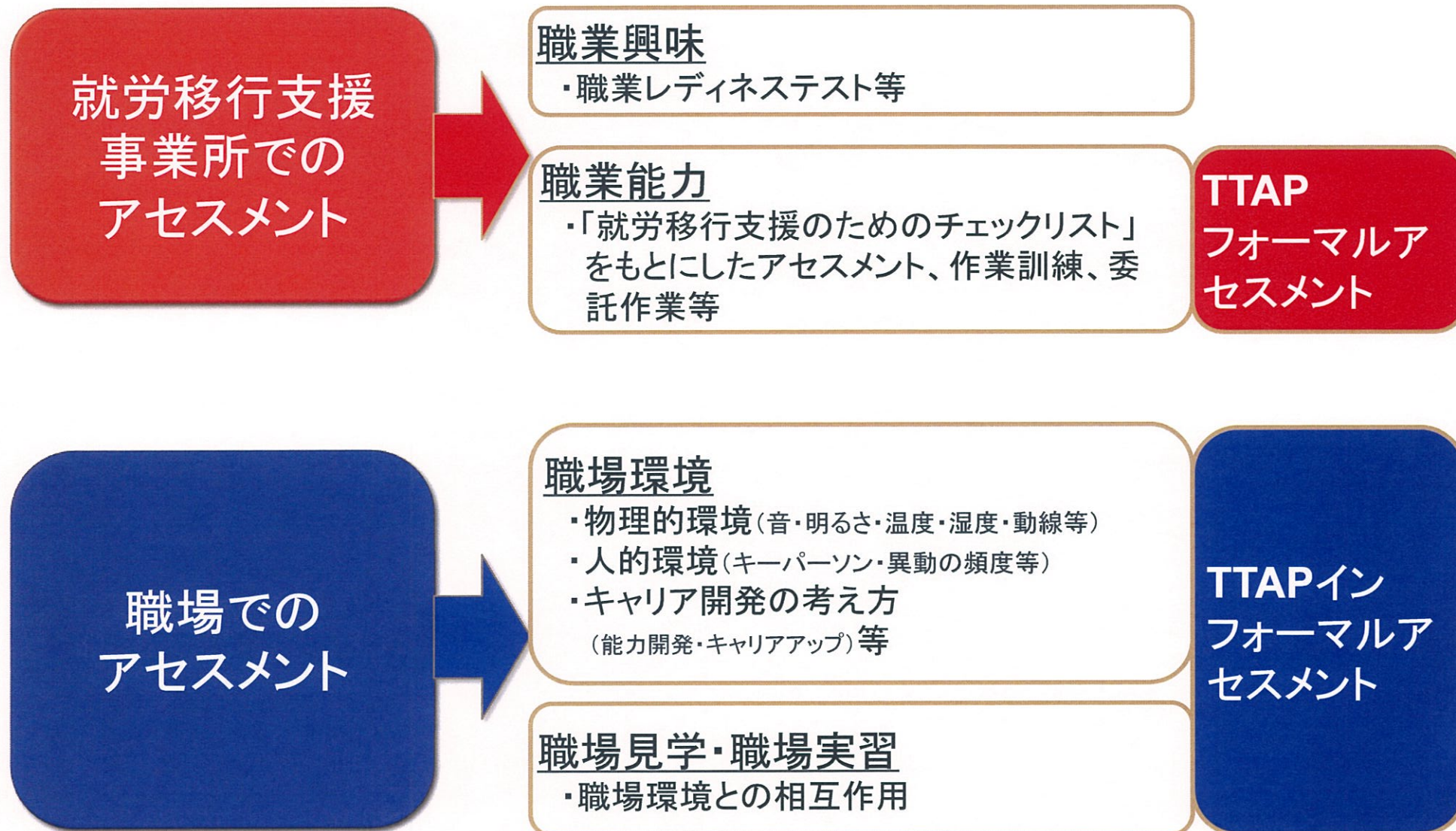
- ・ 職業レディネステスト等

## 職業能力

- ・ 就労移行支援のためのチェックリスト等を基にした事業所独自のアセスメント
- ・ TTAP (TEACCH Transition Assessment Profile)

## 職場環境

- ・ 物理的環境 (音・明るさ・温度・湿度・動線等)
- ・ 人的環境 (キーパーソン・異動の頻度等)
- ・ 企業のステップアップの考え方 (能力開発・キャリア支援) 等



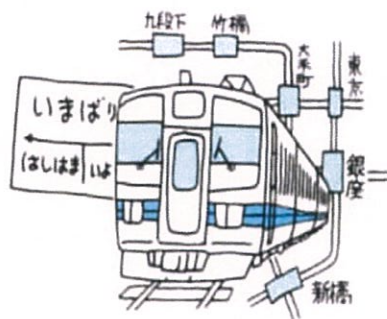
# TEACCHプログラムとは

- Treatment and Education of Autistic and related Communication handicapped CHildrenの略語
  - ー「自閉症および関連のコミュニケーション障害をもつ子どもの治療と教育」
- アメリカノースカロライナ大学で創始された、自閉症の本人と家族、およびその関係者を支援する包括的なプログラムで日本を含め世界各国で導入されている
- 自閉症の人が自閉症のまま、「地域で自分らしく豊かに暮らす」「出来る限り自立的に行動できるようになる」ことを目的に支援
- プログラムの原則の1つに「**構造化**」された指導や教育を行うことが挙げられている

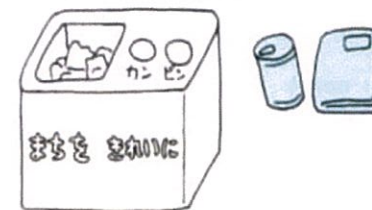
# 構造化とは

- 「理解」することをサポートする方法  
私たちの生活の中に…  
鉄道の時刻表や駅の案内、  
地図や標識など
- 自立して生活するための  
必需品

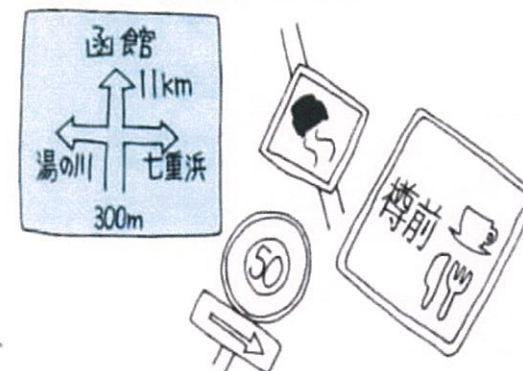
●鉄道の時刻表や路線図  
駅の案内



●リサイクルのごみ箱



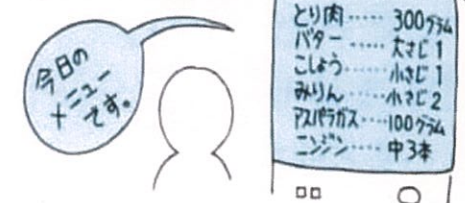
●道路地図・注意標識・案内標識



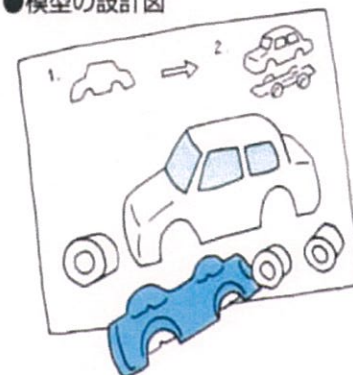
●カラオケ



●テレビの料理番組



●模型の設計図



●工場の勤務モットー



私たちのまわりに、たくさんある、構造化のアイデア。

# 構造化の種類

- (1) 物理的構造化 **どこで何をするのか**  
場所と活動の意味を一致させる
- (2) 時間的構造化 **いつ、どこへ行けばいいのかが分かる**  
スケジュール
- (3) アクティビティ（ワーク）システム **何をするのかが分かる**  
左から右へ、まず、次に～の流れ
- (4) ルーティン **どうやってするのが分かる**  
決まった手順や習慣
- (5) 視覚的構造化 **見て分かる**  
視覚的指示（絵や図、文字による指示）  
視覚的組織化（容器による組織化）  
視覚的明瞭化（強調・量の明瞭化）



# TTAP

## TTAP ( TEACCH Transition Assessment Profile )

TEACCH移行アセスメントプロフィール

– AAPEP ( Adolescent and Adult Psychological Educational Profile )

青年期・成人期自閉症教育診断検査 の改訂版

### (1) 目的

早期青年期、またはそれ以前に成人期への移行を計画し、教育を開始するため

### (2) 対象者

中度から重度の知的障害のある自閉スペクトラム症者

TTAP	内 容
フォーマル アセスメント	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 直接観察尺度・家庭尺度・学校/事業所尺度の実施</li><li>2. 「得点プロフィール/記録用紙」作成</li><li>3. 「構造化による支援方法の参考チェックリスト」採点</li><li>4. 「検査結果報告書」作成</li><li>5. 「移行計画分析フォーム」作成</li></ol>
インフォーマル アセスメント	<ol style="list-style-type: none"><li>1. CRS：スキル累積記録</li><li>2. CSC：地域でのスキルチェックリスト</li><li>3. CBC：地域行動チェックリスト</li><li>4. CSAW：地域での実習現場アセスメントワークシート</li><li>5. DAC：毎日の達成チャート</li></ol>

### (3) 内容

#### ① 3尺度

尺度	検査器具	実施者	実施方法	実施時間 (概算)
直接観察 尺度	簡単で最小の言語 指示で実施するこ とができる教材や 器具	教師、臨床心理士、 ジョブコーチ、そ の他の訓練された 専門家	マニュアルに基 づき、一般的な 知能検査などと 同様の手続き	1 時間半
家庭尺度	行動チェック尺度	保護者、居住場所 での主要な支援者 など	問診に基づいた 尺度の回答	1 時間
学校／事業所 尺度	行動チェック尺度	教員、就労移行支 援事業所職員、職 場の上司など	問診に基づいた 尺度の回答	1 時間

## ② 6 領域 (各領域36項目[直接観察：12項目、家庭：12項目、学校/事業所：12項目]、計216項目)

①職業スキル	・ 様々な職業的課題を達成する際に必要な特定の技術的能力	直接観察	分類、マッチング、組立、測定、計量、ファイリング、タイピング など
		家庭	工具の使用、清掃、料理の後片付け、清掃・台所用品の使用、ベッドメイキング など
		学校/事業所	分類、組み立て、ファイリング、道具の使用、計量、大きさや量の判断 など
②職業行動	・ 職業に関係する行動の能力	直接観察	封入作業、作業の継続性・生産性、作業の丁寧さ、活動の移行、修正や中断に対する反応 など
		家庭	援助を求める力、ルールの遵守、中断への耐性、注意集中力、移動 など
		学校/事業所	自制力、器物やルールの尊重、集団の中での活動、作業効率を考える能力、作業移行自立能力、指示に従う能力、習慣の変化に適応する能力、間違いを正す能力 など
③自立機能	・ 家庭での自立スキルから、地域社会での様々な場面でどの位自立的に活動できるかといった、広い範囲における自立活動と自己決定の能力	直接観察	時間・金銭・標識の理解、食習慣、カレンダーやスケジュール、伝言の理解 など
		家庭	身だしなみ、入浴、歯磨き、排泄、料理、買い物、交通機関の利用、食習慣、服薬、宿泊準備 など
		学校/事業所	食習慣、スケジュールの理解、安全基準に従う、公共の場の利用 など

④余暇スキル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就業以外の時間を社会的に適切な活動で楽しむことができる能力</li> </ul>	直接観察	休憩時間、片付け、複数人で行うゲーム など
		家庭	自由時間の過ごし方、ひとりで遊ぶ、他の人と協力して遊ぶ、卓上ゲーム、ラジオやテレビ、趣味の収集、野外活動、娯楽行事への関心、ペットの世話 など
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の興味と活動を維持する能力</li> </ul>	学校／事業所	自由時間・昼食・休憩時間の過ごし方、協力遊び、集団活動、スポーツ、自動販売機の利用、植物の世話、ゲーム、定期的な運動 など
⑤機能的コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な要求に関するコミュニケーションや、指示やジェスチャーの理解、要求や禁止への反応</li> </ul>	直接観察	言葉・絵による指示・ジェスチャーの理解、質問への回答、肯定的な感情の表出、禁止の理解など
		家庭	基本的要求、概念・表示・標識の理解、電話、社会的活動、自発的な会話、要求、制止、拒否、注意力 など
		学校／事業所	要求の伝達、簡単な指示・禁止に応じる、数・形・色・文字・数字の理解、身振りの理解、活動の決定・中止に応じる、終わりの理解 など
⑥対人行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的対人関係のスキル</li> </ul>	直接観察	呼名への反応、挨拶、検査者の存在への反応、自己統制、好ましい対人行動、好ましくない対人行動、移動 など
		家庭	好ましい行動、好ましくない行動、社会的集まり、他者への意識、公共の場での行動、交友関係、謝る、自己統制、共有する など
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な人やそうでない人との対人行動</li> </ul>	学校／事業所	他者への意識、好ましい行動、好ましくない行動、自制心、集団活動、仲間関係、食べ物や持ち物の共有、自己統制、言葉遣い など

## (4) 採点方法

「芽生え反応」を  
「指導・支援目標」に

<p>合格 ( P : Pass )</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>被検査者が例示なしに、またはわずかな限られた例示で課題を完全に達成できた場合</li> </ul>
<p>芽生え ( E : Emerging )</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>被検査者が何を要求されているか知っているが、課題を十分に理解し完全に達成する能力をもっていなかった場合</li> <li>被検査者が課題を達成するのに繰り返しの実演やその他のサポートが必要な場合</li> </ul>
<p>不合格 ( F : Failure )</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>被検査者が、項目達成に必要な知識をもっていないか、繰り返しの例示やその他のサポートを受けても課題に取り組みはじめなかった場合</li> </ul>

## (5) 検査器具 (抜粋)

被験者の**学習スタイル**に応じた  
**支援方法**を検討することが出来る

職業スキル | 旅行キットのパッケージング



職業スキル | カップとスプーンによる計量



## 4. 職場定着のために

---



## (1) 適切なジョブマッチング

- ・ 仕事そのものだけではなく、職場環境を考慮する
- ・ 見通しの持てる仕事と適したスケジュール
- ・ 明確で具体的な仕事、気の散らすものがない場所
- ・ 対人関係を要しないところで、過度な感覚刺激は避けられるべき

## (2) 同僚上司の受け入れ態勢

### 【企業】

- ・ 障害に関する認識と理解

### 【就労支援者】

- ・ ASD者の仕事を理解する
- ・ 同僚や雇用主に対する啓発
- ・ 上司が満足すべき仕事を創出する
- ・ ASD者が職場のルールを理解することを助ける

### (3) 実際の職場での支援

- ・モデリングによる指導
- ・構造化された環境
- ・ビデオモニタリング
- ・エラーレスラーニング
- ・プロンプトシステム

### (4) 職場の合理的配慮

- ・職場での刺激を軽減するためのアセスメント
- ・音、妨害物、人混み、明るさ、空間などASD独特のニーズアセスメント
- ・実際の現場における再構造化
- ・文字により強調する
- ・仕事を完成させる上での継続的なスケジュール
- ・指示書、ノートブック、ラベル、チェックリストの活用
- ・構造化されたワークシステム
- ・休憩時間にすることを用意する

### (5) 長期的サポート

# 5. 支援事例

---

(1) 自閉症

(2) アスペルガー障害・ADHD

## 対象者（1）自閉症者

- ユウスケ（仮名）
- 19歳 男性
- 自閉スペクトラム症（愛の手帳4度）
- 特別支援学校高等部在学中、障害者枠での一般就労を目指して職場体験実習を行ったが、セルフコントロールの難しさによる行動面での課題があり、卒業と同時に就労移行支援事業所を利用

# 就労前の取り組み

～時間的構造化～

課題

不安が強く落ち着きがない

背景

見通しが持ちづらい

対応

- ・文字によるスケジュールの活用
- ・1週間の見通しを持つ
- ・急な変更時にも視覚的に確認

# 就労前の取り組み

～視覚的構造化～

課題

【清掃場面】  
同じ場所を何度も掃いてしまう

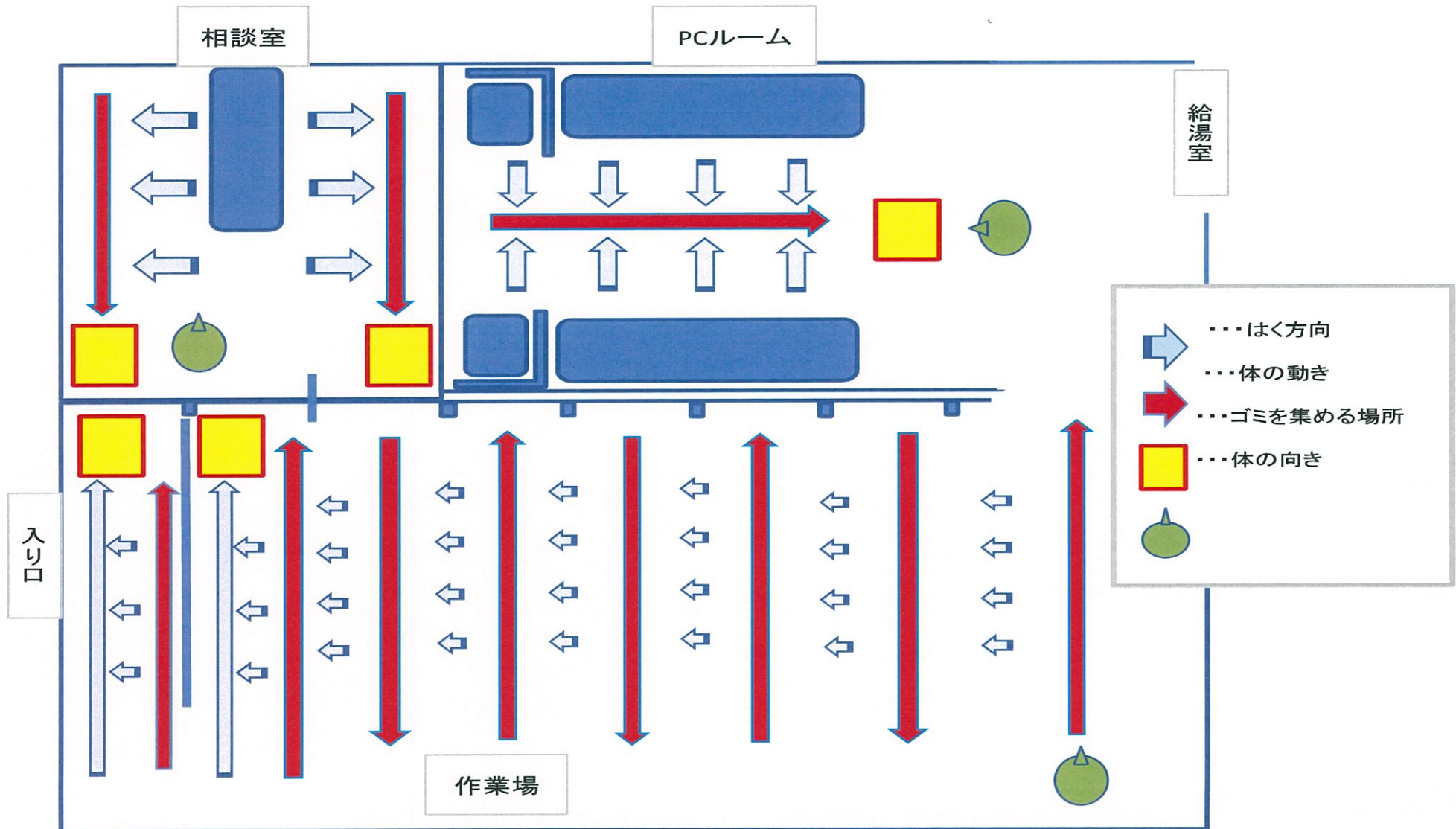
背景

視空間認知の弱さ

対応

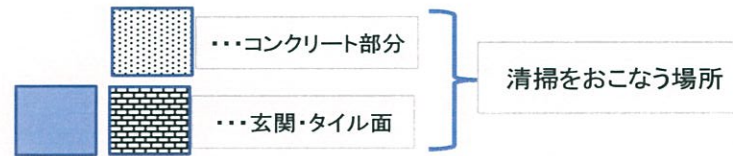
清掃時、掃く方向と掃くエリアを視覚化して示す

# 掃き方の視覚化

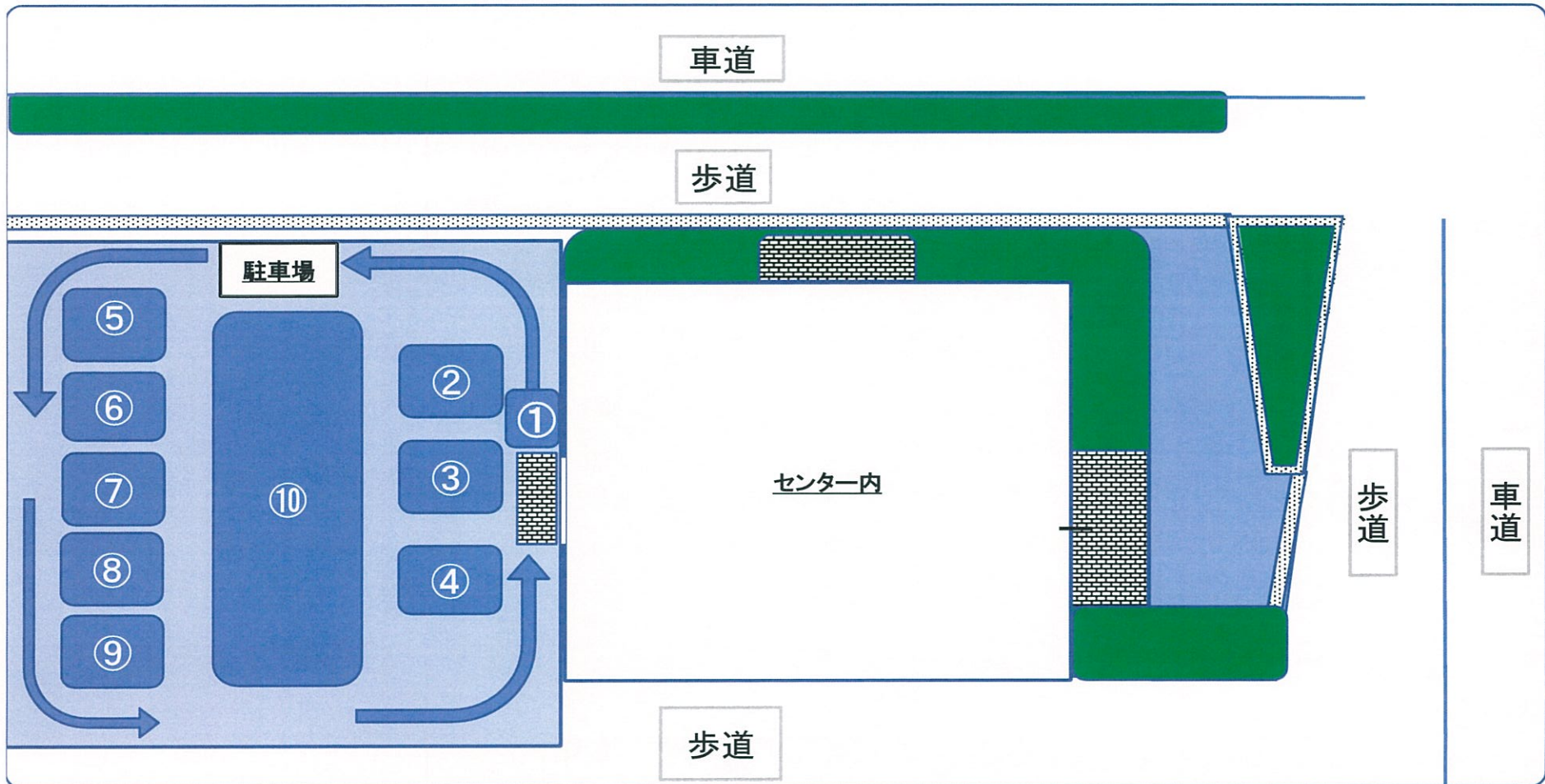


# 外周清掃の視覚化

【外周図(清掃)】



※歩道…  
① 通行人・自転車などに注意をする。  
② 落ちているゴミがあればひろう。





# 就労前の取り組み

～コミュニケーション～

課題

援助要請が難しい

背景

「いつ」「何を」「どのよう」に伝えれば良いのかがわからない

対応

- ・ 場面に応じて報告者、確認者を一本化
- ・ コミュニケーションカードを活用

# コミュニケーションカード



# 就労前の取り組み

～感覚行動～

課題

脇や陰部の匂いを嗅ぐ

背景

落ち着かせるため  
切り替えるため

対応

**他行動分化強化 (DRO: Differential Reinforcement of Other Behaviors)**

(例) 柔らかい触感の物を顔に当てることを好む点に着目し、匂いを嗅ぎたくなった際に柔らかい触感の物をいつでも触れることが出来るようにしたところ、脇・陰部を嗅ぐことは軽減された。

# Motivation Assessment Scale

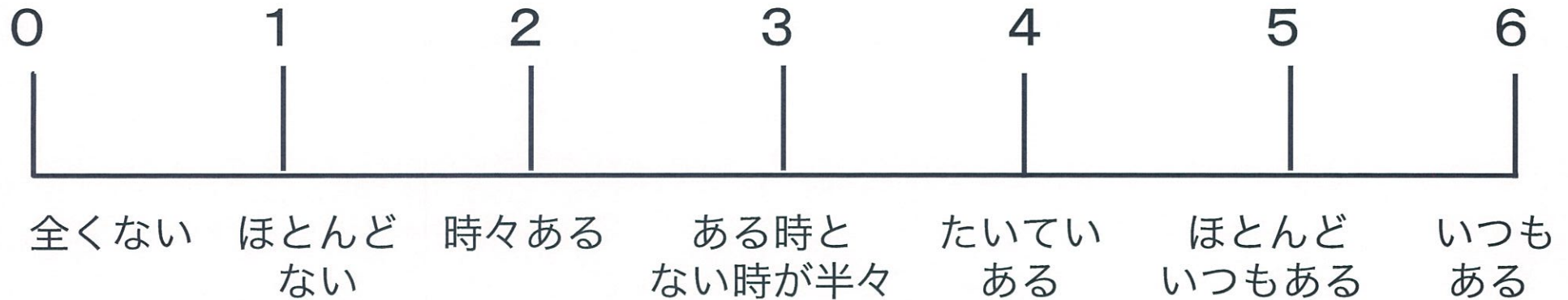
## (問題となる行動の機能分析)

1. 問題となる行動を具体的に一つ記述してください。

※「パニック」や「他傷」等だけでなく、「頭を机に打ちつける」「人をつねる」等、具体的な行動を記述してください。

2. 問題行動が起こる状況を詳しく記述してください。

※直前の状況や時間、頻度、周囲の対応、その結果どうなったか等の視点で記述してください。



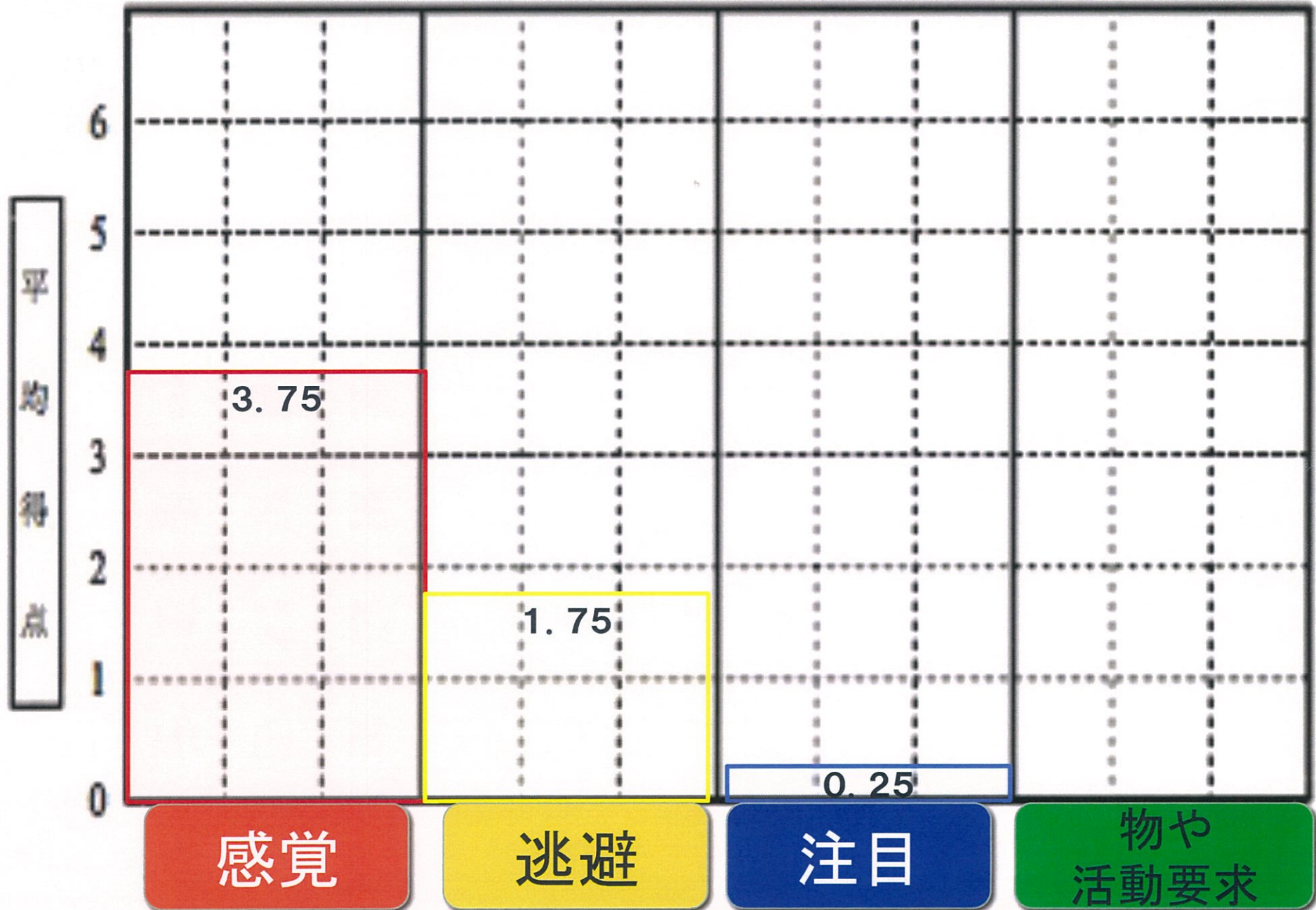
1. その行動は、長い時間（例えば何時間も）、誰も対応せずに放っておくと、いつまでも繰り返し起こりますか？
4. その行動は、食べ物やおもちゃを手にいれようとしたり、あるいはあなたから禁止されている活動をしようとして起こしているようですか？
6. その行動は、あなたが何らかの要求、あるいは指示をしたときに起こりますか？
11. その行動は、あなたが注目していない時にあなたを慌てさせたり困らせたりするために起こしているようですか？  
(例えばあなたが別室にいたり他の人と関わっている場合)

感覚

物や  
活動要求

逃避

注目



# 就労定着支援の取り組み

～動機付けの維持～

課題

作業の自己流化  
意欲の低下

背景

達成感が伴いにくい  
将来の見通しが持てない

対応

- ・ 日常的な労い
- ・ 新たな職域の開発や役割の設定
- ・ 日常生活上の動機付けを検討

## 対象者（2）アスペルガー障害

- ・ コウキ（仮名）
- ・ 24歳 男性
- ・ アスペルガー障害・ADHD・突発性過眠症・協調性運動障害（精神保健福祉手帳3級）
- ・ 国家資格取得を目指し、福祉系大学へ進学。大学中退後、適職を検討するため就労支援センター経由で就労移行支援事業を利用。



# 就労前の取り組み

～セルフコントロール～

課題

疲れやすい、苛々しやすい

背景

セルフコントロールの難しさ

対応

- ①影響を受けやすい要因をアセスメント  
物理的環境・人的環境等
- ②セルフコントロールの方法を検討  
疲労度やストレス度に応じて、休息の取り方など、対応方法を個別で検討。状況に応じて医療と連携。

月 日( )

昨日はよく ( 眠れた ・ 普通 ・ 眠れなかった )

←当てはまるものに○をつけてください

今日の体調 ( 良い ・ 普通 ・ 悪い )

←当てはまるものに○をつけてください

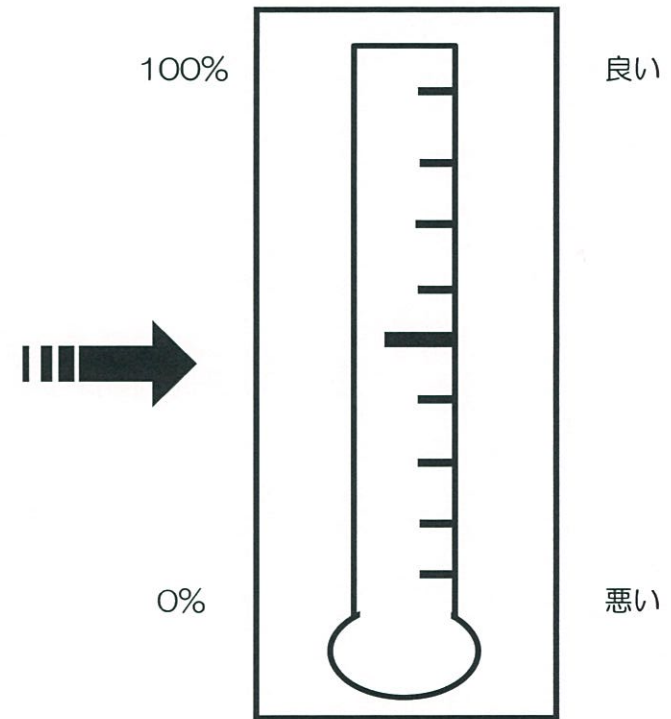
### 今日の気分

当てはまるものに○をつけて、その理由を書いてください

気分	理由
嬉しい	
楽しい	
幸せ	
悲しい	
怒っている	
いらいら	
緊張	
心配	



### 気分の温度計



# 就労前の取り組み

～コミュニケーション～

課題

思ったことをそのまま伝えて  
しまい、誤解を受ける

背景

状況を読み取ることの困難さ  
コミュニケーション経験の不足

対応

- ①状況・場面を視覚化  
やりとりを記録に残す、コミック会話の活用等
- ②可能な範囲でやりとりを定型化  
自己対応には限界がある。まずは、自分の特徴  
を知る・気づくことを目的<sup>54</sup>。

# 就労定着支援の取り組み

～コミュニケーション～

課題

(例) 指摘された意図が理解できず、上司・同僚に敵対心を持つ

背景

状況、相手の意図を読み取ることの困難さ

対応

- ①状況や相手の意図を知り、対応方法を学ぶ
- ②上司・同僚の理解を得る

# 仕事で出やすい特性

## ◆コミュニケーション◆

同僚(障害のある方含)への  
説明資料(例)

行動

その時に思ったことを正直に口にする

余計なことを言って  
怒らせてしまう

理由

状況を察したり、  
相手の気持ちを想像することが難しい

対応

(周囲)理由があることを知る。曖昧な表現は避け、  
どうすべきかを具体的に伝える。  
(本人)状況や相手の意図を知り、対応方法を学ぶ

## 6. まとめ

---

- 障害特性を知り、理解する
- 職場の理解を得る
- 環境との相互作用を通じた現実的な配慮事項の確認  
→ 合理的配慮事項の明確化



## ASD者 “構造化” による支援



ジョブマッチング、職場定着へ